

絆と笑顔が創る夢への第一歩



会長 平泉 憲一

2022年度が始まりました。過去2年間はコロナ禍のため新年会や各種イベントはほとんど実施することができませんでしたが、現在は少しずつ元に戻りつつあるようで待ち遠しい限りです。

さて、本年度は、コロナ禍での経験も踏まえて、これまでの山桜会活動の見直しや改善を行い、よりパワーアップして次年度へバトンタッチをしてまいります。

このために昨年度は評議員会において複数回皆さまからご意見をいただきましたし、若い方からベテランから成る「山桜会の将来を考えるプロジェクトチーム」を発足して1年近くテーマ別の検討を重ねていただきました。

6月26日の山桜会総会では、これらのご意見や成果を踏まえた今後の山桜



会像を報告いたします。私たちの活動は、同窓生の懇親と学院の支援です。そのためには、前提として、皆が楽しく交流することが不可欠です。その思いも込めて、山桜会総会は、「絆と笑顔が創る夢への第一歩」となることを目指しております。

ぜひ、多くの皆さまに総会に参加いただき、明日の山桜会への第一歩を一緒に踏み出しましょう。

追手門学院

未来を切り拓く



理事長 川原 俊明

平泉会長をはじめ、山桜会のみなさん。日頃から、学院へのご支援、誠にありがとうございます。

コロナ禍で、山桜会活動も総会や新年会など、多くの活動が規制されてきたことと推察いたします。その中でも、山桜会執行部のみなさんのご尽力で、山桜会の活動が滞ることなく行われてきたことに敬意を表します。

学院生も頑張っています。とくに目覚ましい活躍をした生徒たちについては、先日、学院生表彰も行いました。

おかげさまで、学院は、今年で創立134年を迎えました。少子高齢化

社会の現実を踏まえながらも、学院の未来像を想定し、その実現に向けて、新たに2022年度から6年間にわたる「第Ⅳ期中期経営戦略」がスタートしました。学院の長期的な発展のためには、教育の質を高め、学院のブランドをアップさせる経営が不可欠です。まさに「イノベーションを創出する総合学院」を実現させなければなりません。

こども園から大学院までの教育機関として、未来を切り拓く人材としてのイノベーション人材を山桜会とともに育成しましょう。



学院生表彰(茨木)



学院生表彰(大手前)